

# 劇あそび

公益社団法人 日本児童青少年演劇協会  
「劇あそび勉強会」  
〒102-0085 東京都千代田区六番町13-4 浅松ビル2A  
TEL03-5212-4771 FAX03-5212-4772 事務局  
E-mail: jidogeki@jcyta.or.jp  
編集・発行 加藤早恵

復刊No. 218 (2024年12月) 題字 蓑田正治

## 劇あそび勉強会 2024年11月16日 記録

参加者：大場美保 菊池里枝 橋本知子 松下有希 蒔田敏雄

(計5名)

会場：東京YMCA山手コミュニティセンター101教室

### 夏季講習会ダイジェスト 実技講座③『音楽あそびで劇あそび』その1 発表者 大場美保さん 松下有希さん

「第55回幼児の劇あそび夏季講習会」ダイジェストシリーズも今月で終了！と思われましたが、なんと代表の加藤早恵さんはじめメンバー数名が勤務するひなぎく幼稚園の70周年行事と重なっていたこともあって参加者が少なく、「こんなに楽しい活動なのに、もったいない」ということで、今月はそのうちの2つをご紹介いただき、残りは来月に紹介していただくことになりました。

ちなみに会場のYMCAでもセンター5階にある山手学舎が70周年で、その記念礼拝・式典等が204号室で行われていました（撤収が遅れ、勉強会は急ぎょ101室利用になりました）。

#### 『♪びったんこ♪』 By 大場さん

♪びったんこ びったんこ あなたとわたしで びったんこ～♪の歌と動作で、2人組（またはもっと大人数）で（びったんこ）などところを見つけるというちょこっとあそび。子どもたちや講習会参加者の場合は自由に話し合う中で（びったんこ）な共通点を見つけるとのことでしたが、今回はハードルを上げ、「今日」「子どもの頃」というお題のもと、短い時間の中でいっぱい話し合っ、共通する（びったんこ）などところを見つけ、発表し合いました。「今日」では服装や食事、交通手段など、「子どものころ」では食べ物や習い事などで（びったんこ）な事柄が判明！盛り上がりました。

小さな子どもたちとの活動では、（びったんこ）の歌と動作の時に、様々な身体の部分を言ったり、提案したりしてもらうことで、身体の部位（ひじ・ひざ・くるぶしなど）の言い方を覚えることにもつなげているという事例も紹介されました。

保護者同士でやると、自然に共通項を知り合うことができる効果もあるという話も出て、「週明けさっそくやってみる！」との声も聞かれました。

#### 『♪庭に出てあそぼう♪』 By 松下さん

♪庭に出てあそぼう 庭に出てあそぼう～♪の歌とダンスで始まるあそび。あそび方の紹介では、なんと「しりずもう」が披露され、大場さんが吹っ飛ぶという衝撃（笑撃？）の場面も！（右の写真⇒）

いろいろなあそびを表現する活動から、ペアになって考えた（あそび）を表現し、他に人たちに当ててもらおう活動に展開しました。今回のお題は「大人の私たちが楽しむあそび」ということで、「バーベキュー」や「温泉旅行」が即興で表現され、大変盛り上がりました。



終わった後の感想では、

- ・「子どもたちも歌いたがりそう」⇒もちろん、元気に歌ってくれるそうです。
- ・2人の声が美しく、それだけで癒され、楽しめる。日常の保育にも、歌と癒しと安らぎが溢れている。⇒そうできればいいんですが、そうでない時も多いんですよ、との「告白（笑）」も。

#### 保育者が演じて見せる劇

#### 『ひーちゃん ひーちゃんと ちょうちよのモグモグ』

脚本 蒔田敏雄

お引越しをしてきたばかりのひーちゃんと一緒に遊ぶひーちゃん。そのひーちゃんには、〈モグモグ〉という名前の別のお友だちがいて……。

子どもたちと「グー チョキ パー」での手遊び歌を2種類楽しむところから始まるお話を、みんなで遊んだり演じたりしながら楽しみました。

作者からは「〈モグモグ〉の名前にこだわってみたが、通じるか」「飼われていた〈モグモグ〉が外を飛んでいることの説明のため、後半が説明調になってしまっているが、どうか」等の相談がありました。



演じた参加者からは、名前については「ちょうちよなのに〈モグモグ〉という名前なのは意外性がありおもしろい」「確かに幼虫は葉っぱなどをどんどん食べる様子が印象的だし、いっぱい観察していたことが伝わるからいいのでは」という意見が出ました。

また、ちょうちよになってから、外を自由に飛んでいることについては、「成虫になったら逃がしてあげるとするのは自然な行動なので、説明はいらないのでは」という意見が出され、「せっかく成虫になったのだから、逃がしたくなかった（カブトムシ等の幼虫を成虫まで育てた経験から）」という作者の思いとは違う視点が示され、より自然なストーリー展開に発展できそうという話になりました。

他にも、「かたつむりを全身で表現するのもいいが、きっと♪グーチョキパーで♪でかたつむりを作る子も出るだろうから、それを生かしたらいいのでは」「手遊びをやる中で、例えばカニさんなど他のいろいろな生き物なども出てくるだろうから、それを取り入れて、もっといろいろなものに出会う展開も楽しいのでは」等の意見がだされました。

子どもたちに演じてみせる時には、「グー チョキ パー」で子どもが表現している時に「あ、あそこに何かいる！」と、見つけて紹介してあげてくれることを大切にしてほしいという意見や、「悪者がまったく出てこないやさしい世界のお話もいいなと思った」などの意見が出されました。



#### ♡おまけ♡

勉強会終了後に、公式LINEで配信するための「紙コップ劇場」の撮影会が行われました。コロナ禍前に行われた「劇あそび勉強会 合宿」で作成した、イラスト入り紙コップを使っての「紙コップ劇場」紹介動画を撮影！近日公開予定とのこと。

お楽しみに！！

（文責 蒔田敏雄）



#### 次回の劇あそび勉強会は・・・

◆期 日 12月21日(土) 18時～20時15分

◆参加費 500円

◆場 所 東京YMCA山手コミュニティセンター 204教室 (2階)

(新宿区西早稲田2-18-12)

最寄駅 JR・東西線・西武新宿線：高田馬場駅 徒歩7分 都電荒川線：面影橋 徒歩7分

副都心線：西早稲田駅 徒歩3分

#### ◆内 容

\*クリスマス・お正月に使える？ちょこっと劇あそび

発表者 蒔田敏雄さん

\*～講習会ダイジェスト～ 実技講座③『音楽あそびで劇あそび』その2

発表者 大場美保さん 松下有希さん